

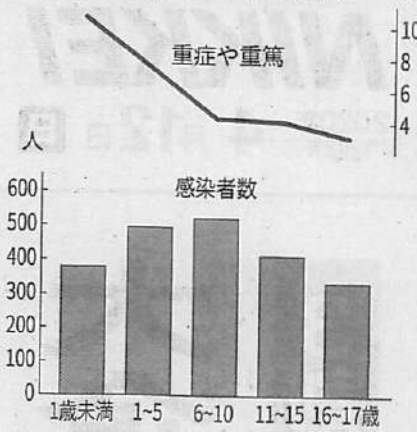
乳児・子供重症例相次ぐ

新型コロナ 早期の発見カギに

世界で感染者が160万人を超えた新型コロナウィルス感染症について、乳児や子どもの重症例が目立ち始めた。最多

の感染者がいる米国でも死亡例が明らかになった。子どもなどは軽症や無症状で済むことが多いとされてきたが、肺の機能が発達して重症化しやすいため、大人に比べて感染者は多くはないが、早期発見と注意深い対応が必要だ。

年齢別の感染者数と重症割合



(出所)上海交通大学などの研究論文

中国の上海交通大学などは、1歳未満の場合には感染すると10人に1人が重症化するという分析結果をまとめた。中国では2月上旬までに18歳未満で約2100人の感染などが報告され、1歳未満は約380人。このうち40人が重症や重篤な状態だった。6歳以上の重症化率は約4%にとどまっ

たが、1〜5歳では7.3%、1歳未満では10.6%にのぼった。米国でも感染した乳児の入院率の高さが顕著となっている。米疾病対策センター(CDC)がこのほど公表したデータによると、治療歴の判明した1歳未満の乳児95人のうち、62%の59人が入院し、5人は集中治療室に入った。18歳未満では、745人のうち約20%が入院していた。

乳児では、念のために入院するケースを含む可能性もあるが、長崎大学病院の森内浩幸教授は「集中治療を必要とする割合がほかの年齢層より高い」と指摘。乳児などで重症化しやすいとみられる原因については「肺が成熟しておらず、一般に呼吸器の感染症が重症化しやすい」と説明する。



新型コロナウイルスの検査を受ける子供＝A P

死亡例も出始めている。米国コネティカット州では、生後6週間の赤ちゃんが感染して死亡し

たほか、米イリノイ州も感染した乳児が死亡したことを公表した。世界保健機関(WHO)などの調査では、感染者全体のうち重症や重篤になるのは約2割とされているが、乳児や子どもの感染者の数は他の世代に比べて報告が少ない。中国で2月中旬までに感染した約4万5千人のうち、10歳未満は約1%にとどまり、死亡報告もなかった。現在までに乳児の死亡例も出ているが、数は少ない。CDCが分析した約15万人の米国の感染者の中でも18歳未満は1.7%だった。ただ重症化が目立ってきた理由について、森内教授は「流行が拡大して、親などから感染する機会

が増えたためではないかと分析する。国内でも山梨県で、救急搬送された1歳未満の女児が、検査で陽性が判明した。入院率などは医療態勢の違いなどもあり、他国のデータが日本に当てはまるとは言えない。だが、東京慈恵会医科大学の浦島充佳教授は「乳児の重症化率が高い

のはインフルエンザなどと同じ傾向なので、十分な注意が必要だ」と話す。問題は、発見が遅れがちな点だ。日本小児科学会によると、子どもの風邪では37.5度以上の熱が4日程度以上続くことがよくある。すべてで新型コロナウイルス感染症を疑うのは難しい。森内教授は「気が

ずはかかりつけ医などと同じ傾向なので、十分な注意が必要だ」と話す。中国の武漢小児病院やCDCによると、子どもの多くは家族などから感染しているとみられる。森内教授は「親は密集・密接・密閉などリスクが高い環境を避け、家にウイルスを持ち込まないことが重要だ」と話す。